

(Daily 日本史) ～中世外交史～

【問】 2003 年 関西学院大学 文

次の A～C の文章を読んで、設問に答えなさい。

A. 11 世紀後半から、日本と高麗や宋との間で商船の往来が活発となった。a は、瀬戸内海の手海賊平定などで鳥羽上皇の信任を得て、西国の受領を歴任し、日宋貿易で平家繁栄の基礎を築いたが、その子清盛も、大輪田の泊を修復するなど、日宋貿易に力を入れ、財力を蓄え、平家の勢力を飛躍的に伸ばした。

〔設 問〕

① 空欄 a に該当する人名を次より選びなさい。

イ. 平正盛 ロ. 平忠盛 ハ. 平重盛 ニ. 平宗盛

② 下線部 b の所在地は現在の何県にあるかを次より選びなさい。

イ. 広島県 ロ. 岡山県 ハ. 兵庫県 ニ. 香川県

③ 下線部 c について、誤っている文章を次より選びなさい。

イ. 宋からの輸入品の中には、陶磁器、漆器、金、香料などがある。
ロ. 宋船のもたらした物に宋銭がある。この宋銭は日本の商取引に使用された。
ハ. 日本からの輸出品の中には刀剣、扇などがある。
ニ. 日宋貿易は日宋間の正式な国交に基づいて行なわれたものではなかった。

B. 鎌倉幕府のもとでも日宋貿易は盛んに行なわれ、わが国は宋を中心とする東アジア通商圏の中に組み込まれていた。しかし、13 世紀はじめ、モンゴルにチンギス＝ハンがあらわれて帝国を築いて以降、モンゴルはアジアの他国への侵略をはじめた。オゴタイはdを滅ぼし、フビライはeと吐蕃を服属させ、大越にまで進出した。

〔設 問〕

④ d・e に該当する地名を次より選びなさい。

イ. d — 契丹 e — 宋 ロ. d — 金 e — 宋
ハ. d — 契丹 e — 高麗 ニ. d — 金 e — 高麗

⑤ 鎌倉幕府を代表してフビライの朝貢要求に対処した執権を次より選びなさい。

- イ. 北条泰時 ロ. 北条時頼 ハ. 北条時宗 ニ. 北条高時

⑥ Bの時代の出来事として正しい順序に並んでいるものを次より選びなさい。

- イ. 元の成立 → 文永の役 → 宋の滅亡 → 弘安の役
ロ. 文永の役 → 元の成立 → 宋の滅亡 → 弘安の役
ハ. 文永の役 → 宋の滅亡 → 元の成立 → 弘安の役
ニ. 元の成立 → 文永の役 → 弘安の役 → 宋の滅亡

C. 南北朝の内乱は、足利義満の頃には収束した。義満は元にかわって成立した明と国交を開き、f 日明貿易が開始された。また高麗を滅ぼした李成桂が建国したg 朝鮮との国交も成立した。室町時代には、h 蝦夷地やi 琉球との交易も行なわれ、経済的に大きく発展した。

〔設 問〕

⑦ 下線部 f の際に、勘合船が査証をうけた地を次より選びなさい。

- イ. 上海 ロ. 寧波 ハ. 対馬 ニ. 博多

⑧ 下線部 g の交易港である三浦に含まれていないのはどれか次より選びなさい。

- イ. 富山浦 ロ. 合浦 ハ. 乃而浦 ニ. 塩浦

⑨ 下線部 h との交易について正しい記述を次より選びなさい。

- イ. 室町時代、和人との交易における不満からコシャマインが蜂起し、和人はすべて本州に引き上げた。
ロ. 室町時代、畿内と坊津を結んだ日本海交易が盛んに行なわれていた。
ハ. 江戸時代、シャクシャインの戦いを最後に、アイヌは松前藩に服従させられることになった。
ニ. ロシア船の来航を警戒して江戸幕府は蝦夷地を直轄地とし、その体制は明治維新までそのままであった。

⑩ 下線部 i について誤っている記述を次より選びなさい。

- イ. 室町時代、琉球船は、明・日本・朝鮮のみならず、東南アジアまで進出していた。
ロ. 戦国時代、南蛮貿易が始まり、琉球は中継貿易の役割を奪われて衰えていった。
ハ. 江戸時代、 摩藩は琉球を支配下においたが、明との朝貢貿易は続けさせた。
ニ. 琉球は 摩藩の支配下にあったので、明治維新後、日本への帰属は問題なく決定した。

【解答】

A 〔設問〕

① ロ

② ハ

③ イ

B 〔設問〕

④ ニ

⑤ ハ

⑥ イ

C 〔設問〕

⑦ ロ

⑧ ロ

⑨ ハ

⑩ ニ